

九州まちづくり提案

アイデンティティある薫るまちづくり

自治会や町内会、あるいは住宅団地やマンションごとに薫る木を植え、育てて「薫るまちづくり」を実施してはどうだろうか。薫る木はキンモクセイが典型であろう。ミカンもよいだろう。葉から独特な薫りがでるし、白い花、オレンジの実のある光景は「みかんの花咲く丘」の歌を思い出し心温まるものがある。頑張れるなら藤の花だ。薫りの季節に道行く自分を想像するだけで気持ち踊るものがあるだろう。薫る木は敷地の一角に植えるようにする。できたら道に近いほうが良い。強制的にはできないから希望した人からやらせよう。浸透すれば希望者も出てくるだろう。公的な施設の敷地や公園敷地から先にやる。河川敷や道路敷でも余地があればやる。可能なら並木としてもよい。まちづくり基金があればそこからの支援を仰ぐが、基本は町内会や自治会の活動資金の導入、有志からの寄付を仰ぐ。植える人から一定額を徴収するのも良い。町のアイデンティティ作りにつながり、住んでいることに誇りが持てるようになる。